

Press Release

2017年6月23日

アカギヘリコプター、H125 を 1 機発注
エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンとの 30 年の関係を強化

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社はこのほど、アカギヘリコプターと H125 の受注契約を締結しました。この実績のあるエキュレイユファミリーのヘリコプターは、空撮、物資輸送ミッションのために 2018 年 6 月に同社に納入されます。現在、アカギヘリコプターは 2 機の SA315 (ラマ) と 4 機の AS350 シリーズを運航しています。今回の発注はアカギヘリコプターが運航する最初の H125 となります。

アカギヘリコプターの坂本純一代表取締役社長は次のように述べました。「当社とエアバス・ヘリコプターズ・ジャパンは 30 年間にわたり優れた関係を築いてきました。この成功を踏まえ、長年活躍した 2 機の SA315 の退役に備えて H125 の導入を待望しています。新しく導入されるヘリコプターは、これからも吉野杉を輸送するという重要な役割を担い続けます。安全は私たちの最優先事項であり、精妙な作業任務を果たすためにエアバス・ヘリコプターの機体を購入することを決定しました。我々は、今後も引き続きエアバス・ヘリコプターとの関係の向上を期待します」

H125 は、1985 年から同社が運航している 2 機の SA315 の後継機となります。この 2 機のラマは、日本で運航している最後の機体で 2018 年退役予定です。

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンのオリヴィエ・ティリエ代表取締役社長は次のように述べました。「アカギヘリコプターとは、良好な関係を約 30 年間維持しております。H125 を後継機として選定頂いた事は、当社の高品質で高性能な製品への信頼の証です。H125 はあらゆる任務に対応し、険しい山林地帯でも安全に任務を遂行出来ると確信しています」

H125 は実績のあるエキュレイユファミリーです。H125 はその高い性能、多用途性、信頼性、整備費と取得費用の費用対効果において他の単発ヘリコプターに勝り、主に物輸、送電線パトロール、報道取材、旅客輸送等の各種航空事業、警察任務、救急医療に使用されています。2005 年、H125 はエベレストの山頂 8,850 メートル(29,035 フィート)において世界最高高度離着陸記録を樹立しました。これまでに 6,000 機以上のエキュレイユファミリーが約 120 ヶ国、約 1,800 社へ納入されています。

エアバスについて

エアバスは航空、宇宙、その他関連ビジネスにおいて世界をリードするグローバル企業です。2016 年の売上は 670 億ユーロ。約 13 万 4,000 人の従業員を擁します。100 席から 600 席以上を装備する民間航空機を設計・製造しています。また、タンカーや戦闘機、輸送機、特殊任務機、宇宙関連機器も提供しています。ヘリコプター分野においては世界中で効率性の高い民間・軍用ヘリコプターを提供しています。